

2015年12月期 第2四半期 決算説明資料

サイオステクノロジー株式会社

(東証二部 : 3744)

2015年7月29日



- I 第2四半期連結累計期間の概要**
- II 中期基本方針と第2四半期の取り組み**
- III 中期損益計画および通期業績予想**

I 第2四半期連結累計期間の概要

第2四半期連結累計期間の概要

売上高 4,392百万円 (前年同期比**20.5%**増)

- キーポート・ソリューションズ (以下、KPS) の売上を**上乘せ**
(2015年4月に株式取得し子会社化)
- Red Hat, Inc. 関連商品の販売は**順調**
- 「LifeKeeper*」は**増収基調**
- MFP向けソフトウェア*製品が**順調**

営業損失 55百万円 (前年同期は営業利益53百万円)

EBITDA △21百万円 (前年同期は86百万円)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

- 新製品開発のための研究開発費305百万円 (前年同期比**38.3%**増)
- Red Hat Enterprise Linux*の競争激化による利益率低下
- 営業・マーケティング費用の増加

※ 「*」を付した用語につきましては、24ページに解説を記載しております。

第2四半期連結累計期間の業績

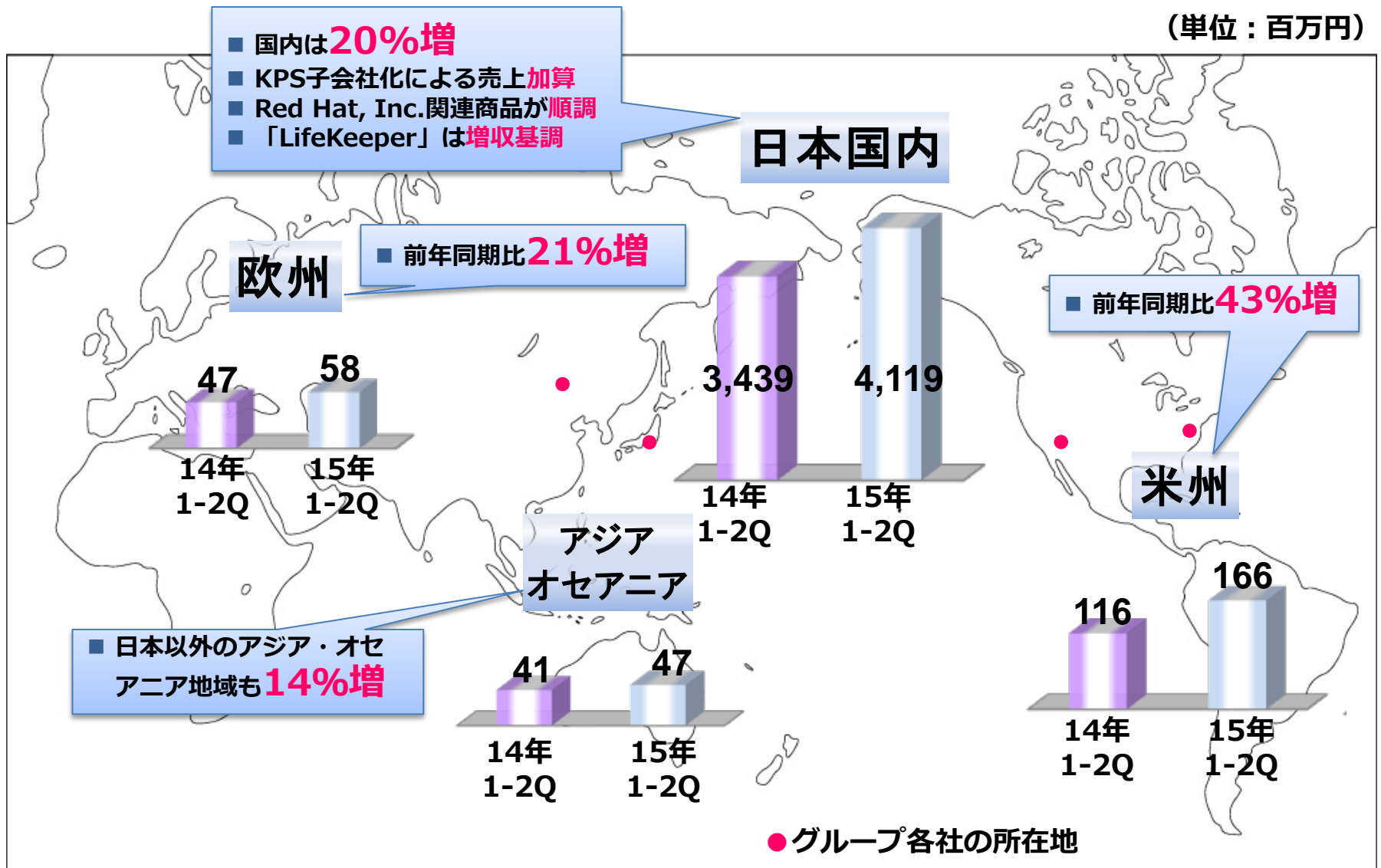
単位：百万円	14年12月期 1-2Q実績	15年12月期 1-2Q実績	差額	前年同期比
売上高	3,645	4,392	+747	+20.5%
売上総利益	1,425	1,580	+154	+10.9%
営業利益	53	△ 55	△ 109	-
経常利益	60	△ 33	△ 94	-
当期純利益	4	△ 54	△ 58	-
EBITDA	86	△ 21	△ 108	-
(連結従業員数)	262名	387名	+ 125名	+47.7%

➤ 2015年4月にKPSを子会社化したことにより、連結従業員数は**400名近い体制へ**

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

※社員数は、期末時点での正社員と派遣社員および契約社員の年間平均人員の合計

地域別売上高の状況



※ 1ドル当たり14年は102.46円、15年は120.31円で換算

第2四半期 貸借対照表 (連結)

単位：百万円	2014年 12月末	2015年 6月末	増減
流動資産合計	3,251	3,277	+26
(現金・預金)	1,982	2,022	+40
(売掛金、その他)	1,268	1,254	△ 14
固定資産合計	400	451	+50
資産合計	3,651	3,728	+76
流動負債合計	1,783	1,885	+101
固定負債合計	134	145	+11
負債合計	1,918	2,031	+113
純資産合計	1,733	1,696	△ 37
(自己株式)	△ 119	△ 116	+3
(為替換算調整勘定)	△ 144	△ 136	+7
負債純資産合計	3,651	3,728	+76

【財政状態】

- **現金・預金 40百万円増加**
- **手元資金は約20億円 (成長戦略を加速するための潤沢な資金)**

- **実質無借金経営**
- **有利子負債は4百万円**

- **自己資本比率 は43.8%と安定した財務体質 (前期末は47.1%)**

第2四半期 キャッシュ・フロー（連結）



単位：百万円	14年12月期 1-2Q実績	15年12月期 1-2Q実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	380	110	△ 270
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 53	△ 41	+11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 42	△ 42	+0
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 36	13	+50
現金及び現金同等物の増減額	248	40	△ 207
現金及び現金同等物の期末残高	1,981	1,922	△ 58

- 営業活動によるキャッシュ・フロー 110百万円

 - 税金等調整前四半期純損失26百万円、減価償却費28百万円、売上債権の減少額132百万円等
- 投資活動によるキャッシュ・フロー △41百万円

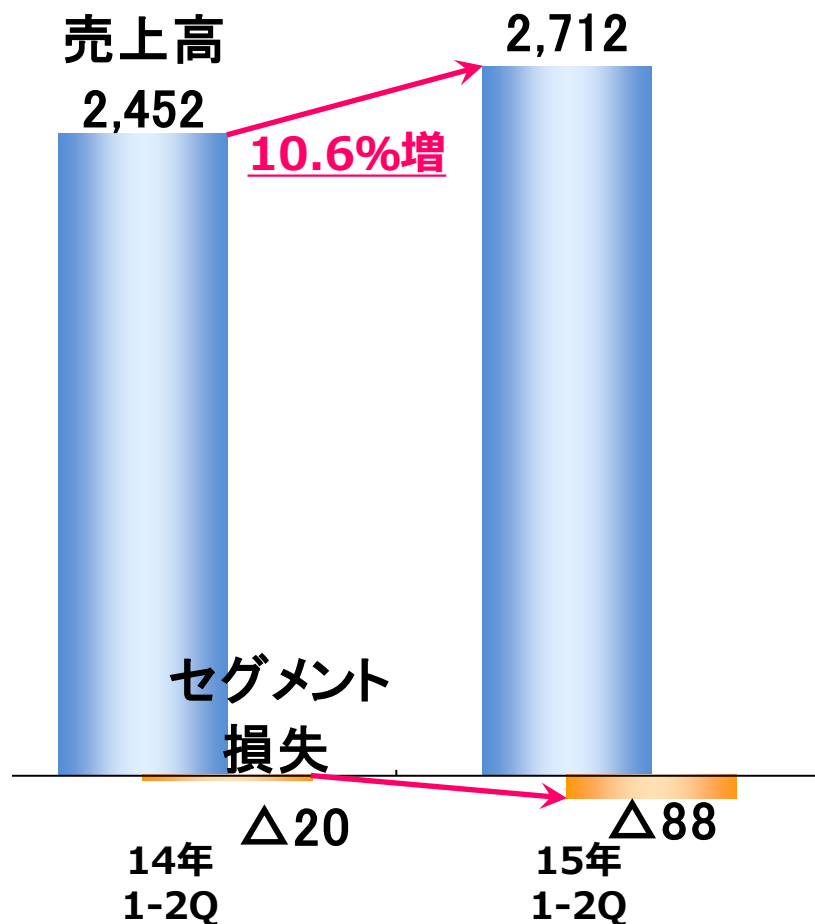
 - 投資有価証券の取得による支出480百万円、投資有価証券の売却による収入573百万円等
- 財務活動によるキャッシュ・フロー △42百万円

 - 配当金の支払額42百万円等

オープンシステム基盤事業

売上高 2,712百万円 (前年同期比 10.6%増)
セグメント損失 88百万円 (前年同期は損失20百万円)

[百万円]



売上高

[国内]

- Red Hat, Inc.関連商品の販売は順調
- OSS *サポートサービスやOSS関連商品が堅調
- 「LifeKeeper」は増収基調へ

[海外]

- 米州、欧州、アジア・オセアニア地域が増収

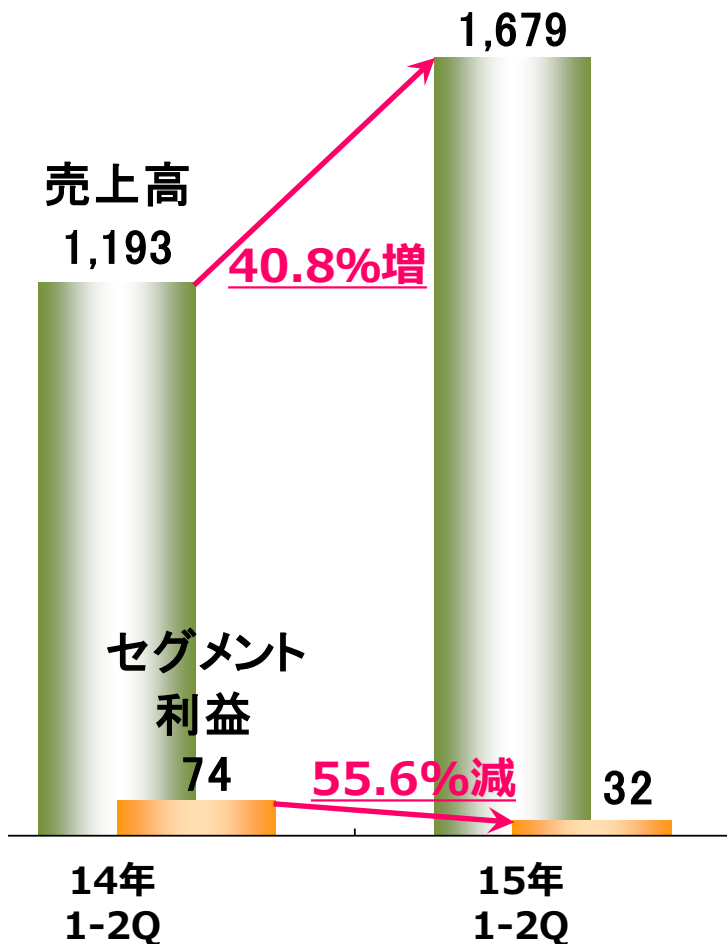
セグメント損失

- ITオペレーション分析*ソフトウェア「SIOS iQ*」の開発
- 「Red Hat Enterprise Linux」の競争激化による利益率の低下
- 営業・マーケティング費用の増加

Webアプリケーション事業

売上高 1,679百万円 (前年同期比 40.8%増)
セグメント利益 32百万円 (前年同期比 55.6%減)

[百万円]



売上高

- KPS子会社化による売上加算
- MFP向けソフトウェア製品が順調

セグメント利益

- MFP向けソフトウェア製品の機能拡張
- 新製品・サービスのための研究開発を推進

Ⅱ 中期基本方針と第2四半期の取り組み

1

継続的な研究開発投資

2

新たな事業創出（M&A含む）

3

コアビジネスの競争力強化

1. 継続的な研究開発投資

機械学習技術*を用いたITオペレーション分析ソフトウェア
「SIOS iQ Standard Edition」を米国、日本で7月より発売

市場における課題・ニーズ

多くのサーバーを使用し、大量のデータ処理を行う企業では、IT管理者への負荷増大が深刻な問題

SIOSによる課題解決

「SIOS iQ」は、システム障害の発生リスクを未然に防ぎ、IT管理者の作業負荷を大幅に軽減

グローバルに販売開始

- 7月14日に米国で発売
- 7月28日に日本で発売

SIOS iQ



- 使いやすいインターフェース
- 機械学習技術により障害発生を予防
- ITオペレーションの最適解を自動化
- インフラ全体の効率化・コスト低減

2. 新たな事業創出（M&A含む）

技術開発力の強化、両社顧客へのサービス拡充、新規顧客獲得を目的に、キーポート・ソリューションズを子会社化

- キーポート・ソリューションズ（以下、KPS）は金融IT分野において、多重処理や拡張性に優れたオブジェクト技術をベースに、システムコンサルティング、開発・運用・保守、投資情報サイト等を提供



2. 新たな事業創出（M&A含む）

■ キーポート・ソリューションズの概要

名称	株式会社キーポート・ソリューションズ	
所在地	東京都中央区新川1-28-38	
代表者	代表取締役社長 森田 昇	
資本金	232百万円	
設立年月日	1999年6月	
出資比率	当社90.5%, その他9.5%	
(百万円)	2013年3月期	2014年3月期
売上高	1,214	1,303
営業利益	40	132
経常利益	40	136
当期純利益	21	144
純資産	226	371
総資産	419	573

2. 新たな事業創出（M&A含む）

プレナスとの共同出資により、海外飲食店向けシステム開発・販売を行う合併会社 BayPOS, Inc. を米国に設立

■ 合併会社設立の目的

当社グループのIT最先端技術開発力と、プレナスグループの飲食事業運営の経験を活かし、海外飲食店向けITシステムの開発・販売を行う合併会社を設立



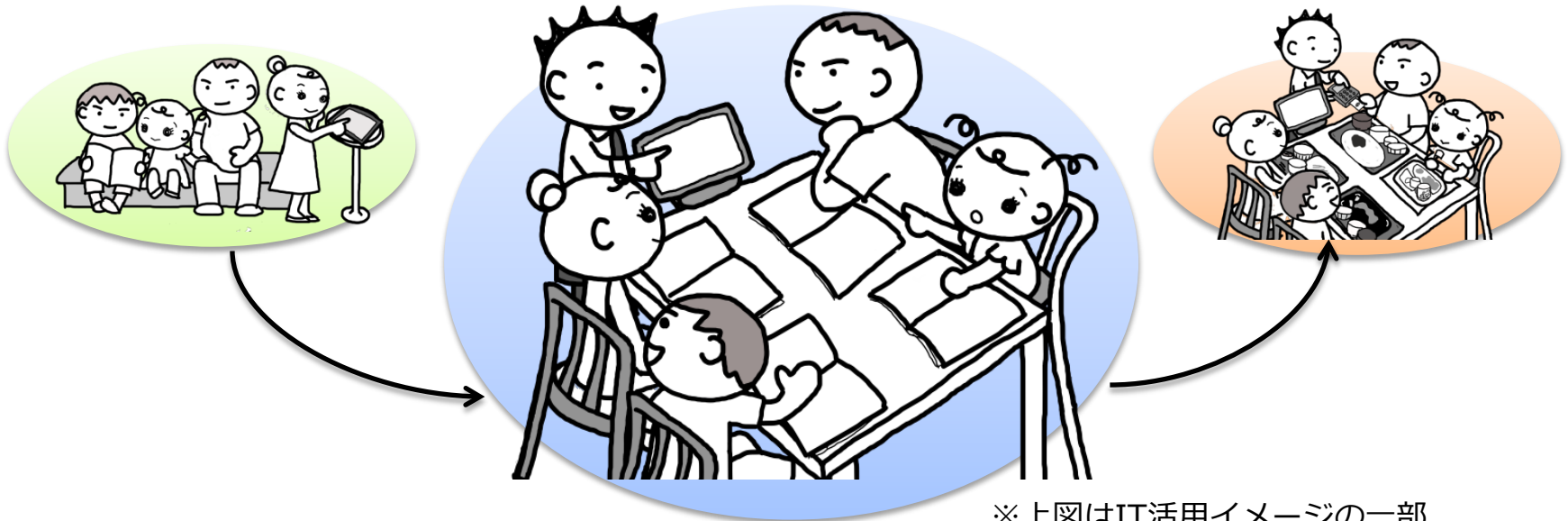
商号	BayPOS, Inc.
本店所在地	米国 カリフォルニア州
設立年月日	2015年6月
出資比率	株式会社プレナス51%, 当社49%

2. 新たな事業創出（M&A含む）

■ BayPOS 事業展開

- ▶ プレナスが運営する定食レストラン「やよい軒」（YAYOI）の米国出店におけるIT化を支援
- ▶ 海外における和食ブームを受け、海外飲食店各社のIT化を支援するビジネスを行う

■ IT活用による飲食店サービス向上施策



3. コアビジネスの競争力強化

タブレット端末のようなタッチパネルでの簡単操作 リコー社製MultiLink-Panel版複合機に対応

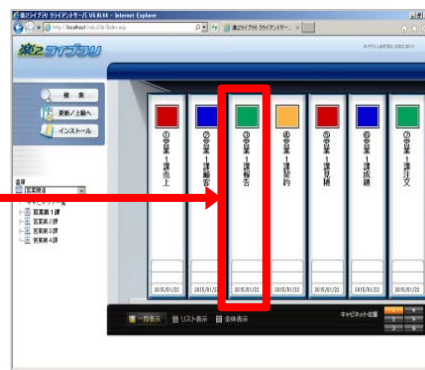
「QuickスキャンV3」の操作性向上

わかりやすいナビゲーションバー



スキャンプレビュー機能

ライブラリ連携



※スキャンした結果を事前に確認可能

3. コアビジネスの競争力強化

企業におけるクラウド*利用の増加、多様化が益々進む中、
「LifeKeeper」のクラウド対応を推進

市場における課題・ニーズ

企業は万一の障害発生時のリスクから、基幹業務をクラウド環境に移行させることが大きな課題

SIOSによる課題解決

稼働系に障害が生じた場合に待機系に自動的に切り替えを行う冗長化技術を用いた「LifeKeeper」のクラウド対応強化を進める

「LifeKeeper」クラウド対応強化の事例

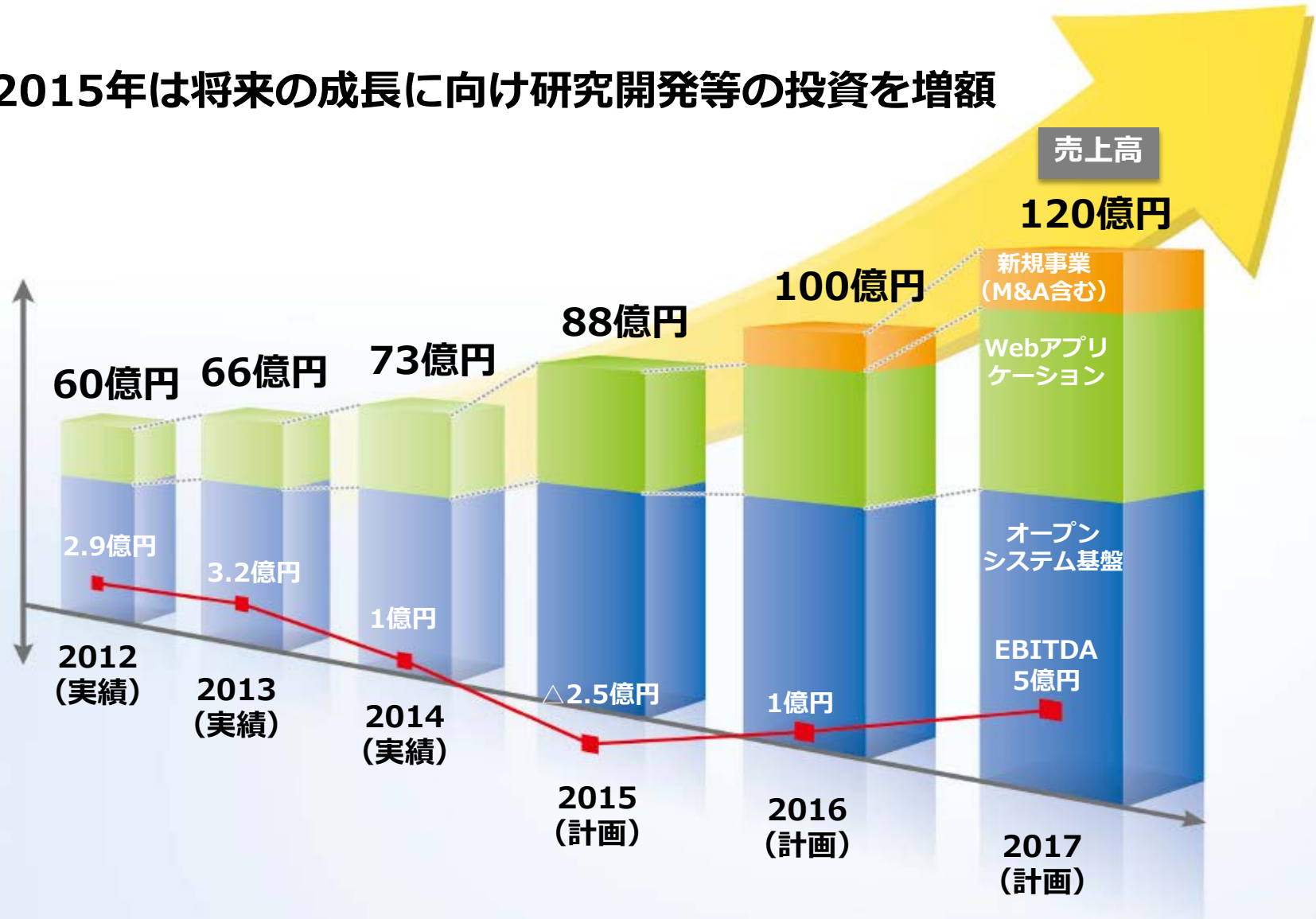
高度な技術力と国内有数のクラウド*導入実績を誇る富士通エフサスとクラウドシステム構築分野で協業



Ⅲ 中期損益計画および通期業績予想

中期損益計画について

- 2015年は将来の成長に向け研究開発等の投資を増額



2015年12月期 通期業績予想

1. 研究開発投資
2. 新たな事業創出（M&A含む）
3. コアビジネスの競争力強化、を引き続き推進

単位：百万円	15年12月期 1-2Q実績	15年12月期 通期業績予想	進捗率
売上高	4,392	8,800	49.9%
営業利益	△ 55	△ 300	-
経常利益	△ 33	△ 300	-
当期純利益	△ 54	△ 330	-
EBITDA	△ 21	△ 250	-

当社は、2004年8月に東京証券取引所マザーズに上場し、2015年5月1日をもって、東京証券取引所第二部に市場変更しました。



今後も皆様のご期待にお応えできるよう、更なる業容の拡大と企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご指導とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

SIOS is Innovative Open Solutions

1997年の創業以来、OSSを軸にWebアプリケーションやOS（基本ソフトウェア）、ITシステムの開発・基盤構築・運用サポート等の事業を展開し、現在はこれらにクラウド技術を加え、新たな価値創造とそのご提供に取り組んでいます。

クラウド

高い技術力ときめ細かいサポートで利用拡大！

OSS

技術力とサポートは創業以来の強み！



本社 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル

資本金 1,481百万円

設立 1997年5月23日

社員数 連結387名（2015年6月30日現在）

連結子会社 SIOS Technology Corp.（米）、赛欧思（北京）科技（中）、グルーエージェント（日）、関心空間（日）、Glabio,Inc.（米）、キーポート・ソリューションズ（日）

頁	用語	説明
3	LifeKeeper	本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。
3	MFP向けソフトウェア製品	プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multi Function Peripheralの略)という。MFPを効率的に利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」等の開発・販売・保守。
3	Red Hat Enterprise Linux	オープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。
8	OSS(オープンソースソフトウェア)	ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
8	ITオペレーション分析	IT運用で発生するビックデータを分析し、実用的で分かりやすい情報へと変換するもの。
8	SIOS iQ	仮想及びクラウド環境においてアプリケーションの稼働状況を包括的に監視・分析・最適化し、パフォーマンスや効率性の向上、信頼性保護を図り、複雑な課題を解決する製品。
12	機械学習技術	人間が行っている学習能力と同様の機能をコンピュータで実現しようとする技術、さまざまなデータから有益な情報を発掘するもの。
18	クラウド	コンピュータ処理をインターネット経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。

ご留意事項

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

本件に関するお問い合わせ

サイオステクノロジー (IR)

Tel : 03-6401-5111 (代表)

Webによる場合はこちらからお問い合わせください

→https://www.sios.com/ir/form-IR_ssl.html



SIOS